学校番号	３０１６

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界の歴史　改訂版　（山川出版社）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表　三訂版　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

◇近現代の歴史は社会科の他の科目の内容と密接に結びついています。授業で学んだ歴史的事象を、日本史と連動させて考えたり、地理的にとらえ直すよう、常に心がけること。そのために、ワークシートや小論文などの課題にも積極的に取り組むことが重要である。
◇現代社会の出来事について歴史的背景を踏まえて考察し、自らの意見や考えを持ち、発信できる力を身につけてほしい。ミニポスターを用いた発表等の機会を大いに活用すること。

２　学習の到達目標

◇諸資料に基づいて世界の歴史を理解し、現代社会の諸事象に対する思考力を培う。
◇日本史との関連性を意識しながら近現代史を深く理解し、国際社会に生きる日本国民に必要な資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、論理的に追究する意欲を持つ。また、国際社会で責任を持って行動できる、日本国民としての資質を形成している。	世界史を学びながら日本史的・地理的事象との関連性を含めて多面的に考察し、現代社会の変化を公正に判断して、歴史的経過・結果や自らの意見を適切に表現できている。	与えられた教材の中の史料や、自らの探究活動で得られた諸資料をもとに、有用な情報を選択し、適切に解釈して、小論文やミニポスターの作成にうまく生かしている。	各歴史的世界の生活・文化の特色を踏まえながら、近現代史の基本的な事象と歴史的な因果関係を充分に理解している。また、地理的・日本史的事象との関連も意識している。
評価方法	レポート 主題学習においては小論文の作成	定期考査 ワークシート 主題学習においては小論文の作成	定期考査 ミニポスター 主題学習においては小論文の作成	定期考査 ワークシート 主題学習においては小論文の作成

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期Ⅰ	世界の一体化と日本	＊世界史と風土 ＊ユーラシア諸文明の特質 ＊ユーラシアの交流 ＊ヨーロッパの対外進出 ＊アジアの繁栄と世界経済	○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	a:近現代世界を理解する前提として、ユーラシア諸文明や世界の一体化の過程に関心を持っている。 b:学習内容を多面的に考察し、歴史的経過や因果関係を適切に表現できている。 c:必要な諸資料を収集し、取捨選択して、与えられた主題に適した年表・図・文章などをまとめることができている。 d:学習内容を日本史的・地理的事象と関連付け、世界の歴史に対する理解を深めている。	定期考査 ワークシート レポート
前期Ⅱ	世界の一体化と日本	＊産業革命と工業化 ＊アメリカ独立とフランス革命 ＊ウィーン体制とﾅｼｮﾅﾘｽﾞﾑ	 ○	○ 	 ○ 	○ ○ ○	a:資本主義や国民国家の形成について、意欲的に考察している。 b:同上 c:同上 d:同上	定期考査 ワークシート ミニポスター
前期Ⅲ	世界の一体化と日本	＊ｱｼﾞｱ・ｱﾌﾘｶ・南米の変動 ＊東アジアの変容と日本 ＊帝国主義の到来	○ 	 ○ 	 ○	○ ○ ○	a:植民地化とそれに対する抵抗運動などについて、強い関心を持っている。 b:同上 c:同上 d:同上	定期考査 ワークシート
後期Ⅰ	地球社会と日本	＊第一次大戦とロシア革命 ＊戦間期の欧米諸国 ＊民族運動の高まり	 ○ 	○ 	 ○	○ ○ 	a:世界大戦の総力戦としての性格や、大戦が世界および日本に与えた影響について、意欲的に考察している。 b:同上 c:同上 d:同上	定期考査 ワークシート レポート
後期Ⅱ	地球社会と日本	＊ファシズムと第二次大戦 ＊冷戦と第三世界 ＊統合と混迷の現代世界 ＊主題学習「持続可能な世界を実現する統合のあり方」「現代世界の混迷の要因」	 ○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ 	a:戦後史の理解を深めながら、持続可能な世界の構築に向けた自主的な考察を深めている。 b:同上 c:同上 d:世界の動向と日本のかかわりに着目しながら、これからの日本社会に必要な知識を獲得している。	定期考査 小論文

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。